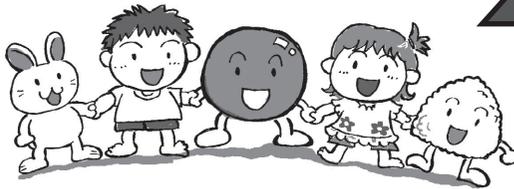


# あゆみ通信

Ayumi Report No. 010

たくましく  
かしこく  
こころ  
ゆたかに



発行 社会福祉法人「古里会」

上田市古里 824-8

☎ 0268-23-0503

e-mail ayumi-2006@oboe.ocn.ne.jp

http://www.ayumikosato.com

## 園長就任のあいさつ



金井利子

三年前に定年退職しておりますが、この四月からあゆみ保育園で再スタートを切ることになりました。

私にとって在職した三十四年間は、密度濃く楽しめた時間の宝物です。時には必死になったり面白かったりしながら色々な経験をすることができました。

あゆみ保育園はいつも子どもが主人公でした。あゆみ保育園に関わる大人も、主人公になって輝ける稀有な保育園だと思います。

今までも、そしてこれからもそんなあゆみを守っていきたい、未来に手渡していきたい、もしそこに私の役割があるのなら、園長という重責を担いたいと思えました。

コロナ禍の三年間、人との距離を取ることが日常になり、マスク越しの会

話を余儀なくされました。表情からの読み取りが、発達に大きく影響する乳児期〜三年分を早急に取り戻さなければなりません。そして異年齢の関わり等を通じて、あこがれたり、なりたりモデルに出会い自分を成長させていくことも大事な環境です。やっと当たり前だった日常が戻ったことをよろこび合いたいと思います。

園の行事もコロナ禍以前のようにできるようになりました。その中で意義ある行事となったのが、保護者と共に取り組む「あゆみまつり」でした。「復活だ!! つながり続けるあゆみの輪」をテーマに全園一丸となって取り組みました。

保護者と職員（こどもから見ればおとな）が力を合わせて成功させたことを「あゆみまつりごっこ」で一週間子どもたちが再現して遊ぶ姿で見せてくれました。

父母の願いを元に、何もないとこから大勢の人が力を合わせてつくってきた保育園。これまで先輩たちが築いてくれた芯の部分を捉え、職員の力を十分に発揮して発展していられるよう力を尽くしたいと思います。

理事長就任のあいさつ



水野 昭子

この度、理事長という大役をお引き受けすることになりました。七月に前理事会から引き継ぎを受けた山積する問題の中でも、最優先するのは、ひよこ組の増築に関する事項でした。手狭になったひよこの部屋をきちんとした形で増築することが兼ねてからの懸案でありましたが、諸般の事情から先送りになっておりました。まずは過去の経緯から紐解く事を始めましたが一周回って最後は、現在の園舎を建築していただいた安藤建築士さんに相談する事が最良であるということに到達いたしました。先日現地を見ながら構想を打合せしたところでありました。産休明けの働くお母さんのために赤ちゃんを預かったことから始まった「あゆみ保育園」の原点に立ち返り、ひよこ組の安全と、豊かな環境を整えることを進めてまいります。あゆみ保育園を支えてくださる皆様方には何卒一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせていただきます。

理事・監事紹介



理事 大安 ヒデ子

私の頭をじゅつと見ていて子「どうしてそんなに白いの」私「だんだんトシとつてきたから」子「そしたらいつ死ぬの」それは私にも解りません。



理事 松井 秀二

2012年度保護者会長 つくる会会長 “みんなでつくるみんなの保育園” を目指し頑張ります。



理事 柳澤 幹男

らいおん組の孫が、小学生になっても、あゆみ保育園の役に立てるかな。：ちよつと心配です。



理事 大澤 伸太

娘がきりん組で在園中。子供たちが大好きなあゆみ！の先生たちが笑顔でいられる“職場作り”に協力出来る事が嬉しいです。



理事 遠藤 のり子

あゆみで働き35年。今度は運営面で協力する事になりました。OBの皆さん、卒園した皆さん、遊びに来て下さい。



監事 佐藤 隆

縁あって監事となりました。宜しくお願いいたします。



監事 今井 康哲

今年度より監事を務めさせていただきます。子ども達が卒園して二十年以上になります。久しぶりにあゆみ保育園と関わらせていただきます。よろしくお願い致します。

評議員紹介

- 滝沢 修一 堀内 令子
- 渡邊 温美 田中 健太
- 渡辺 正博 高橋 明
- 小林 しげ子 杓掛 正喜(新)

2023年（令和5年）9月6日（水曜日）

# 信州民報

## 上田市「あゆみ保育園」4年ぶり交流イベント 保護者OBが40年間撮影の写真も展示

上田市古里の（福）古里会・あゆみ保育園（水野昭子理事長、金井利子園長、園児数95人）は3日、4年ぶり「あゆみまつり」を開催。保育園の子どもたちを主役に保護者職員、地域の人々が交流を深めるイベントだ。

『復活だ！つながり続けるあゆみの輪』をテーマに「これまでつなげてきた子どもと子どもの輪をつなげていきたい」と、職員と保護者でつくる実行委が内容を工夫し、笑顔あふれるイベントを作り上げた。

金井園長は「開催は感無量」とし、「園児、保護者そして職員も中止によって以前のあゆみまつりが分からず、『1』から作り上げよう」と取り組んで

きた。保育の充実・発展に絶対欠かせないものは『人』。交流を深め、あゆみ保育園を地域に発信し、保育園の充実につなげるため復活したとする。

イベントは、保護者職員8人による太鼓演奏でスタート。「コロナ前はもつと大勢で演奏してきた伝統の太鼓。少人数でも復活することが大事」と、6月から月2回練習してきたという。

実行委員長の入倉綾美さん（年長園児保護者）は「3年間でできなかった交流イベント。初めて経験する園児も多い。多くの協力者を得て素晴らしい内容となった。大いに楽しんでください」とあいさつ。園児と家族ら来場者も心が一つとなり、



太鼓でイベント開始。すでに大盛り上がり



「あゆみ保育園の歩み」を伝える写真。鑑賞により、家族の絆を深める姿があった

多彩な催事が開始した。子どもたちの遊びコーナーには「ヨーヨーつり」「忍者体験」「輪投げ」などが設けられ、バザーも実施。上田乗馬クラブの協力で「乗馬体験」「えさやり体験」も行われた。保育園支援を目的に物品販売する「つくる会」は、給食にも使う調味料などを紹介。そして仙台発信の2人組あそびうたユニット「あきらちゃん&ジヤンプくん」のコンサートもあり、子どもも大人も楽しんだ。

さらに保護者OBの坂口知加史さんが40年にわたり撮影してきた、園児

の写真を展示。「あゆみ保育園の歩みを寄附させていたきたい」と贈られたもので、現在、保護者の園児だったころの写真もある。この日、その一部を教室いっばいに展示し、家族で楽しそうに鑑賞する姿もあり人気のコーナーとなった。



ちようちよになりきてます！

散歩にでかけると「ちようちよ！」と指をさして大喜びするひよこ組の子どもたち。ちようちよもバッタもトンボも全部「ちようちよ」になる事があるほど大好きです。毎日の散歩では田んぼのあぜ道をちようちよになりきり飛んでいるつもりで歩いたり、トンボやカエルに触れて驚いたりおいかけてたりして過ごしています。元氣いっぱいの子どもたちです！



ひよこぐみ (0歳児)

クラスの窓だより



でんしゃごっこ楽しいね♪

部屋にあった縄を見つけた一人が中に入って持ち始めると、それに気付いた他の子も次々と一緒に持って歩き始めました。みんなが行きたい方へ進むと、四方八方へ行くけれど、子どもたちは、でんしゃごっここのつもりで、とつてもとつても楽しそう。グイッショがたのしい”あひるぐみです。



あひるぐみ (1歳児)



ワクワクの梅の観察

翌日から毎日優しく瓶をゆすつて中の様子を観察しました。おいしくできた梅シロップでジュースやかき氷を楽しみました！

玄蕃山に行った時に見つけた梅の実に興味を持ったうさぎぐみ。絵本「うめしごと」を見て、梅シロップを作りました。小梅と氷砂糖を交互に瓶詰する作業を子どもたちがしました。梅を一粒ずつ慎重に入れたり、梅を両手いっぱいにはんで入れたり、梅は触りたくなくて氷砂糖だけを入れたり様々でした。



うさぎぐみ (2歳児)



### ぞうぐみ (3歳児)

追いかけてっこが大好きなぞう組さんです。ルール遊びが出来るようになって毎日、どろけい、水鬼、○△□と子どもの方から誘ってきて走り回っています。土や泥に水を入れ、自分の好きなトロトロにするのが今流行っています。どこの土を使うか、水は、どの位入れるか好きなトロトロを研究しています。

楽しそうだなと思う事には、サツと遊びつき遊べるノリのいい子どもたちです。



遠足でハイチーズ★



### きりんぐみ (4歳児)

クラスのかなはちゃん宅のご厚意で、畑へさつまいも掘りに行きました。片道4km程の山のふもとまでの長距離を歩いて行くことに。

「100個採る!」「こーんなでかいの!」と期待を膨らませて歩き…ついに到着!!つるを三人がかりで引つ張り、手で一生懸命掘って…ようやく「みてー!!」と、とつても大きいさつまいもを収穫出来ました。一度自分がみつけたさつまいもは絶対渡さないう!!と採れるまで掘る姿がありました。たくさん収穫したさつまいもを、焼き芋会で焼いて、お店屋さんみたいに配りたい!とまだまだ楽しみがあるようです。



いもほりに挑戦中!



### らいおんぐみ (5歳児)

沖繩の歌、踊りが大好きならいおんぐみ。夏の間は、ひたすらパーランクをたたき、仲間と音を合わせる気持ち良さ、エイサーの後打ちの面白さを味わいました。

運動会では、役人の人たちが首里城を作るところを表現している「国頭さばくい」を踊りました。「なんで沖繩の人は王様のために首里城を作ったんだろう」「王様ってどんな人なんだろう」「今は作り直しているってらしい」など、疑問に思ったことはなんでも調べていくうちに博士のようになつていきました。歌詞の意味まで、子どもたちなりに解釈すると、表情や腰の低さなど変わっていき、仲間同士息が合うようになつてきました。

沖繩の人たちの、みんなで力を合わせて大変なことでも楽しむことを忘れない姿勢を、らいおんぐみは教材を通して感じとっているように思います。



国頭さばくい

# 社会福祉法人 古里会 あゆみ保育園

2022年度財務状況を、ここにお知らせいたします。

## あゆみ保育園をつくる会 収支計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

社会福祉法人名 古里会

(単位：円)

取 入		内 訳	
科 目	金 額	内 訳	
寄付金	357,942	協力金	
		保護者	193,772
		職員	115,000
		卒園児・理事・他	49,170
物資取扱手数料	940,144	自然食、虫よけ	200,000
		三陸・ウインナー	100,000
		文旦	106,380
		りんご	88,320
		野菜・饅頭売り上げ	24,167
		他	
		Tシャツ収益	115,377
		エビフライ・明太子	303,900
		ホール利用料	2,000
団体加盟会費	82,000	保護者会より	
年末物資寄付		年末物資一口500円	
運営委員会配分金	301,194	あゆみまつり・年末物資	
雑 収 入	2	利息	
収入 合計	1,846,082		
繰り越し	52,495		

支 出		内 訳	
科 目	金 額	内 訳	
事務費支出	4,000	監査謝礼	4,000
物資仕入	323,593	Tシャツ	56,833
		エビフライ	266,760
小計	327,593		
あゆみ保育園へ	1,465,994		1,465,994
寄付			0
			0
			0
合計	1,793,587		

収入 支出 くりこし  
1,846,082 - 1,793,587 = 52,495



### 急募 保育士

保育士が不足しています。  
お心当たりの方ご連絡ください。  
あゆみ保育園 ☎23-0503



### 編集後記

コロナ禍からようやく園活動が再始動し始まっています。あゆみ祭り、運動会、子どもの元気な声が園内に響いています。園の体制は新しくなりましたが共同、共育ちの精神と子どもの育つ道筋をふまえ子どもの立場にたった保育は変わりませんひとみ輝くあゆみっこ

あゆみ保育園 つくる会 会長 松井 秀二

### \*\*\*\*\* 年末物資の購入お願いと保育園への支援 \*\*\*\*\*

今回チラシを同封した年末物資の購入販売にご協力をお願いいたします。職場、友人、近所の方にも声掛けをしていただくと幸いです。支援して頂いた資金は例年通り園庭と駐車場の借用料にも使い国基準を上回る保育士の加配、あんしん安全の自園給食の維持を目指します。あゆみ保育園へのご支援をお願いします。

一口 1000円 (何口でも可)

つくる会 寄付振込口座 八十二銀行 神科支店 普通126647  
口座名義：アユミホイクエンヲツクルカイ

寄付金控除の領収が必要な方はお申し出下さい